

第47回杏林医学会例会 海外招聘特別講演会



Mary K. Hayden, MD

THE JAMES LOWENSTINE PROFESSOR OF INTERNAL MEDICINE
PROFESSOR OF PATHOLOGY
DIRECTOR, DIVISION OF INFECTIOUS DISEASES
DIRECTOR, DIVISION OF CLINICAL MICROBIOLOGY
RUSH MEDICAL COLLEGE



TITLE:

INTESTINAL MICROBIOME AND INFECTIOUS DISEASE

腸内細菌叢の変化は、肥満や消化管免疫、移植片対宿主病といった多彩な病理・病態と関連する可能性が指摘されています。感染症の分野では、多剤耐性菌獲得やClostridioides difficile感染のメカニズムとの関連が検討されており、その理解は、病態生理の解明のみにとどまらず、糞便移植に代表されるような、腸内細菌叢の正常化を介した治療対象としても注目を浴びています。

Hayden先生は、長く院内感染や多剤耐性菌の分野の研究に従事されている感染症医であり、現在は、米国疾病管理予防センター（CDC）のグラントを利用して、腸内細菌叢と病原微生物獲得の関連、院内での耐性菌伝播のメカニズム等の研究をリードされております。今回、腸内細菌叢の変化と感染症との関連に関して、現在の研究内容を含め、ご講演いただきます。

**2025年
7月15日(火)
16:15～17:15**

大学院講堂（第2病棟4階）

**形式：ハイブリッド開催
（現地＋WEB）**

**主催：医学部臨床感染症学教室
共催：杏林医学会
問い合わせ先：臨床感染症学教室
内線 23551**

WEB視聴用URL:
<https://us06web.zoom.us/j/86566888963>

